

## = 公園の植物 =

### ハママツナ (ヒユ科 マツナ属)



紅葉するハママツナ

海水の影響する砂地によく自生する一年草で、細く青い葉がマツに似ていることからこの名まえとなりました。晩秋に全草が赤くなって目立ちます。花期は9～11月で、花は緑色で茎の上部の葉の付け根に数個固まってつきます。茎の高さは20 cm～60 cm、線状の長さ2、3 cmの葉をもちます。植物分布では元アカザ科に属し、多肉系のところはシチメンソウとよく似ています。真っ赤なシチメンソウに対してハママツナはピンク掛かっています。公園内の中の島や汽水池の水際に自生していますが、ここ数年なぜか少なくなっています。